

2023  
4-6月期



京都企業の  
**BSI**値  
Business survey index

景況感は国内需要やインバウンド回復により大幅上昇、  
自社業況BSIも上昇し持ち直しの傾向が続く

実績

国内景気

国内需要やインバウンド回復等により全ての業種で上昇し、BSI値は大幅なプラス

自社業況

価格転嫁の遅れや人件費等のコスト増等の影響を受けつつも、観光需要の急回復を受けてプラスに

予想

国内景気

上昇基調が続く、7～9月期、10～12月期ともに全ての業種でプラスとなる見通し

自社業況

コスト増への懸念等により上昇幅に多少の増減はあるものの、持ち直しの傾向が続く見込み

POINT

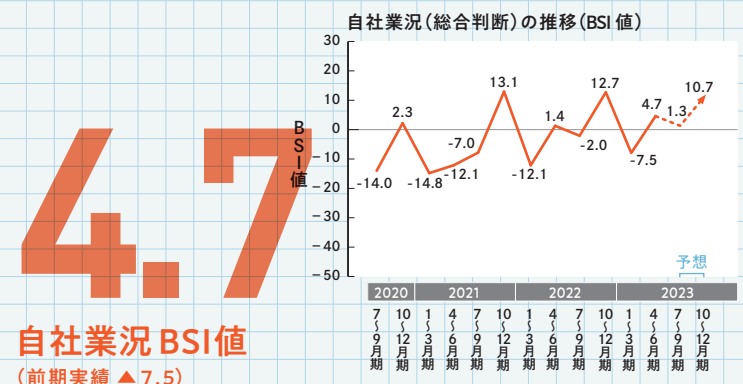
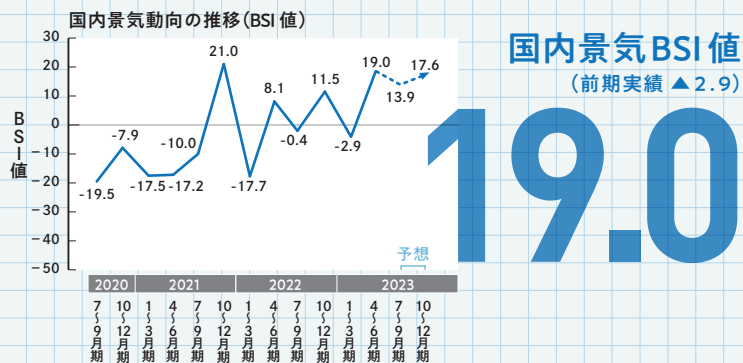
規模別の業況

国内景気、自社業況BSI値は、今期、大企業・中小企業ともにプラスに転じる。今後も上昇基調で推移するものの、7～9月期の自社業況は中小企業の持ち直しにやや遅れがみられる

# 1 概要

今期の国内景気BSI値は19.0(前期実績▲2.9)と、大幅に上昇した。原材料・エネルギー価格高騰の影響が続く一方で、コロナ収束に向けた動きを反映した国内需要やインバウンドの回復等により、全ての業種でBSI値が上昇した。

今後の予想については、物価高等による個人消費への影響といった懸念材料はあるものの、7～9月期は13.9、10～12月期は17.6と、上昇基調が続く見通し。



自社業況BSI値  
(前期実績 ▲7.5)

今期の自社業況BSI値は4.7(前期実績▲7.5)と上昇した。観光需要の急回復を受けて、小売業や旅館・ホテル等のサービス業では大幅に上昇した。コロナ対策緩和による需要拡大や価格転嫁の広がりにより、多くの業種で生産・売上が増加する一方で、価格転嫁の遅れや人件費等のコスト増が目立つ業種では減益傾向が続いている。

今後の予想については、コスト増への懸念が続くことから7～9月期は1.3とほぼ横ばいで推移し、続く10～12月期は観光シーズンや年末需要への期待が強まり10.7と上昇する見通し。

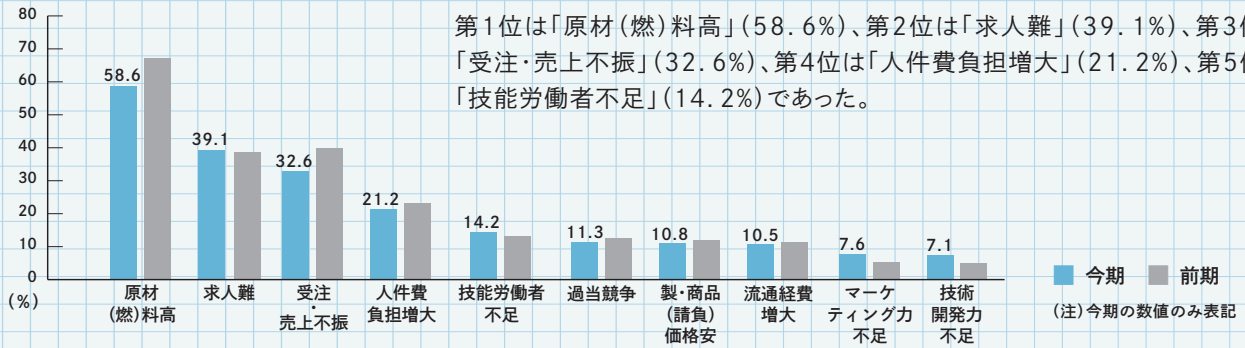
(注)4月～6月期のBSI値は、1月～3月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

# 2 BSI値の総括表

	実績		予想	
	2023年1月～3月期	2023年4月～6月期	2023年7月～9月期	2023年10月～12月期
国内景気動向	▲2.9	19.0	13.9	17.6
自社業況(総合判断)	▲7.5	4.7	1.3	10.7
1. 生産・売上高、工事施工高	▲6.7	3.0	1.6	14.3
2. 製・商品・サービス・請負価格	12.0	14.4	11.1	12.1
3. 経常利益	▲11.1	▲2.5	▲2.9	6.1
4. 所定外労働時間	▲2.3	1.0	1.8	7.9
5. 製・商品在庫	4.8	5.6	5.8	4.4
6. 資金繰り	▲3.3	▲0.5	▲1.8	0.0

※ BSI値=(上昇[増加、他]-下降[減少、他])×1/2

# 3 当面の経営上の問題点

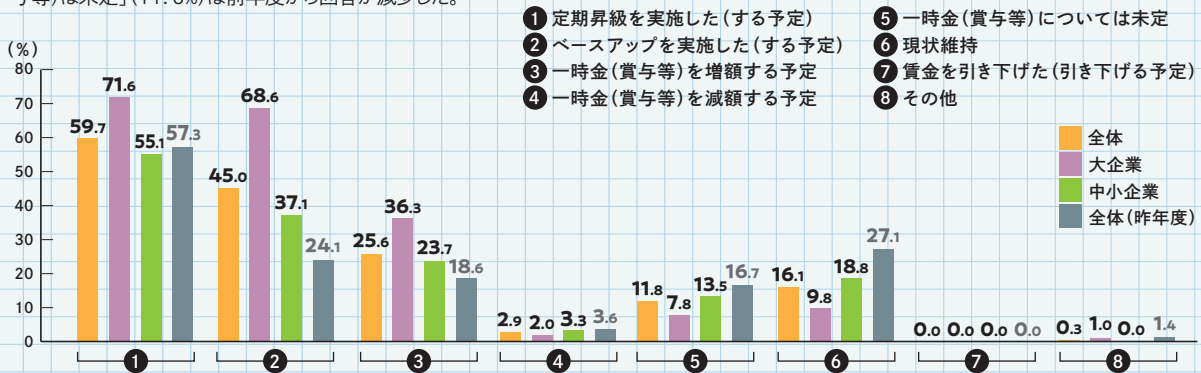


# 4 附帯調査 -ピックアップポイント-

## 1 賃金動向について 賃金の引き上げ\*は前年度より増加 ~ベースアップの実施\*は前年度の倍近く増加~ ※いずれも予定含む

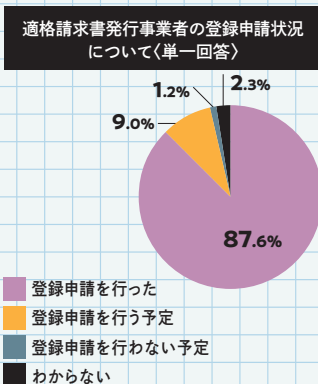
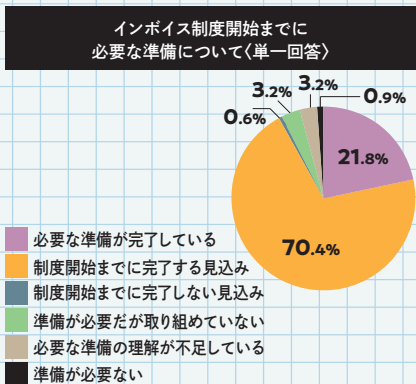
### 今年度の賃金について<複数回答>

上位の回答は、第1位「①定期昇給の実施」(59.7%)が最も多く、第2位「②ベースアップの実施」(45.0%)、第3位「③一時金(賞与等)の増額」(25.6%)と続いた。①~③はいずれも前年度から増加し、特に②は前年度の2倍近くの回答率となった。また、第4位「⑥現状維持」(16.1%)、第5位「⑤一時金(賞与等)は未定」(11.8%)は前年度から回答が減少した。



## 2 インボイス制度の準備状況について 9割超が制度開始までに準備完了予定 一方、取引先への対応等に苦慮する企業も

「必要な準備が完了している」(21.8%)と、「制度開始までに完了する見込み」(70.4%)が合わせて9割を超え、多くの企業が準備を進めていることが分かった。また、適格請求書発行事業者の登録申請は、「登録申請を行った」(87.6%)が最も多く、次いで「登録申請を行う予定」(9.0%)が多かった。「登録申請を行わない予定」は1.2%に留まった。



### インボイス制度への準備に当たって苦慮している(した)点

苦慮点	割合 (%)
取引先への対応	28.8
制度理解	20.3
システム改修	11.9
費用負担	10.2
業務の煩雑化	10.2
請求書様式の変更	10.2
会計処理方法	6.8
社員への周知徹底	3.4
その他	5.1

※自由記述による回答を分類した結果(一つの回答に複数の分類に関する内容が含まれている場合は、該当する分類にそれぞれ計上した。)

### 主な記述内容(抜粋)

- 取引先からの登録番号の入手。(化学・ゴム)
- 小規模取引先への説明と確認。(非鉄)・請求書様式の変更。(一般機械製造)
- 会計システム、ソフト改修に係る手間と費用。(繊維卸)
- 法令の詳細な解釈について完全に理解できているか心配。(機械金属卸)

京都企業のBSI値：5月下旬から6月上旬にかけて同調査を実施し、506社中353社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店等を持つ企業)。

【お問い合わせ】 中小企業支援部 ☎ 075-341-9780 調査結果概要は本所ホームページからダウンロードできます。 [ 京都商工会議所 BSI値 検索 ]